

## 学術大会発表への道 ―テーマ選択から抄録作成と演題登録まで― 学術大会部 阿部 司

皆さんは学術大会での発表をしたことがありますか？

学術大会発表で様々なことを学べることは、一度でも経験がある方ならお分かりでしょう。自身の治療を見直すきっかけとなり、分析の過程で雑多であった知識は整理され、更に文献的考察を加えることで不足していた知識も補えます。また発表では他施設の人と議論を交わし知識を共有することで、今後の理学療法の発展にもつながります。

このように学術大会での発表は大きな意味を持ちますが、職場で助言を得にくい方などは難しいと思うかもしれません。本記事ではこれから学術大会発表を考えている方に対して手順と注意点を解説いたしますので、今後の準備にお役立て頂ければ幸いです。

### 1. 発表テーマの選択

発表テーマの選択は非常に重要であり、ここで発表の大半が決まってしまうます。まずは診療で得られた知見の中で何を分析するかを具体的に検討し、テーマに関連する文献を集めましょう。その過程で皆さんの疑問に対する回答が見つかるかもしれません。もし先行文献でも明確ではないテーマなら、詳細な分析から新たな知見が見つかる可能性があります。まずは仮説を立案し、仮説を証明するための方法を考えます。

### 2. 評価と分析そして考察

評価は一般的で標準的なものを用いることが望ましいです。独自の評価は信頼性や妥当性が検討されていなければ、客観的な分析は困難です。各疾患領域で用いられる一般的・標準的な評価を教科書や各疾患のガイドラインなどから調べましょう。

得られた評価結果から仮説を立証するために統計学的分析を行います。多少難しいこともありますが、客観的な分析には必要な過程です。詳細は専門書をご参照下さい。

結果に対するあなたの意見が考察です。関連文献を踏まえて明確・簡潔にまとめます。

### 3. 抄録作成と演題登録

抄録の作成規定は各学術大会で異なりますので、まず演題募集要項を熟読して下さい。原則として略語の使用は控えて下さい。ただしリハビリテーション領域で一般的な略語（ADL・QOL など）の使用は許容されます。文字数は厳守、機種依存文字（①, I など）は使用を制限されることが多いため募集要項を必ず確認して下さい。

最近では Web 上で演題登録を行う学術大会も多く、上付きや下付き文字などにタグといった特殊な入力が必要なことがあります。多くは登録フォームからコピー&ペーストが可能ですので、利用することで入力ミスを減らせます。最終確認時には、文字化けの有無など自分が作成した文書と違いがないかを必ず自分で確認して下さい。

また近年、発表における倫理規定の遵守が強く求められています。詳細は学術大会で異なりますが、愛知県理学療法学術大会では①少なくとも被検者に研究の趣旨を説明し同意を得ること並びに抄録への明記、②患者の個人が特定できる情報（イニシャルも含む氏名・

生年月日・年齢・住所など) を記載しないこととしていますので遵守して下さい。

繰り返しですが、演題登録に関する注意は演題募集要項に明記されていますので必ず熟読して演題登録を行って下さい。

#### 参考文献・図書

- 1) 蜂須賀研二：研究発表 私はこう発表している 論文発表. 日本義肢装具学会誌. 2010;4:272-278.
- 2) 内山 靖：標準理学療法学 理学療法研究法第2版. 内山 靖(編). 医学書院, 東京, 2006, pp. 2-9.